

研究室近況

昭和49年度はカリキュラムも前年度のものを踏襲し、変化はない。特別講義には、森田宗一先生「司法福祉」、考橋正一先生「社会福祉理論」五味百合子先生「婦人問題と歴史」、日下部禧代子先生「ヴォランティア論」の4先生をおむかえした。又1年次必修の社会福祉原理論においては、籠山京先生、浅賀ふさ先生の講義を前期、後期に1度づつ交えて行った。

長年、法学関係の諸科目を担当された、磯野誠一先生が、国外での研究のため、9月をもって退任され、後任として浅見公子先生が「法学・法社会学」を担当されることとなった。又、社会福祉各論Ⅱの老人福祉の講義は本年度は前田大作先生が担当された。他の科目担当者に移動はない。

2年間、米国ウイスコンシン大学における、研究、勉学をおえ、小島蓉子助教授が10月に帰国された。小島助教授は12月Doctor of Philosophyの学位をウイスコンシン大学より授与され、同時に「東西の社会保障制度のなかのリハビリテーション政策」の研究テーマをもって、アメリカ、カナダ、英国、ベルギー、スイス、チェコスロヴァキア、ソ連をまわられた。

小島助教授の帰国により研究室は教授3人、助教授3人、助手3人のスタッフ構成となった。

次に今年度の研究室スタッフの研究・業績について記す。

松本武子教授

論文「ケースワーク援助の技術」『子どもと家庭』

(児童問題調査会) 昭和49年11月号

著述『社会福祉のスーパービジョン』共訳

原著者Drothy Petter 誠信書房

昭和50年3月

『里親家族』家政教育社 昭和50年3月

『乳児保育』家政教育社 昭和50年3月

佐藤進教授

論文「雇用保険法案の法構造と問題点」『ジュリスト』

558号 有斐閣 昭和49年4月

「ライフ・サイクルと福祉」『ジュリスト特集号』

572号 昭和49年10月

「宮訴訟判決—普通恩給・老令福祉年金併給禁止違憲訴訟—と老令年金法の課題」『ジュリスト』562号 昭和49年6月

「退職後の継続的療養給付と傷病手当金受給権—加藤悦夫対社会保険審査会健康保険受給資格確認・傷病手当金裁決取消請求事件(最高一小判, 昭和49年5月30日)『労働判例』 昭和49年8月15日

「ILO条約・勸告にみる日本社会保障制度の現状と問題点」『健康保険』 昭和49年8月号

「福祉施設労働と労働法上の問題点」『社会福祉研究』16号 昭和49年10月

「高令化社会と企業の労務対応」労働調査研究所『労働事情』302号 昭和49年10月15日

「公的年金における「妻」の生活保障」社会保険新報社『実務と法令』 昭和49年12月号

著書『社会保障法判例』編著 有斐閣 昭和49年7月

『労働協約と就業規則』ダイヤモンド社 昭和49年8月

「社会福祉施設の管理運営と施設労働実態と法規制の問題点—社会保障法と労働法との交錯過程にある領域問題の視角を求めて—」『石井照久教授追悼論文集』頸草書房刊 昭和49年7月刊所収 「団体交渉と労使協議判」『沼田稲次郎教授還暦記念論文集』(上) 昭和49年6月刊所収

一番ヶ瀬康子教授

論文「現代の家族問題と社会的展開」『家庭科教育』 昭和49年5月

「最低基準とは何か」『月刊福祉』 昭和49年6月

「社会福祉の学習権問題」『ジュリスト』臨時増刊号 昭和49年10月

「サリドマイド児の福祉問題について」『ジュリスト』557号 昭和49年12月

編著書『社会福祉辞典』共編 誠信書房 昭和49年6月

『児童福祉論』編著 有斐閣 昭和49年9月

『養育院百年史』編著 東京都刊 昭和49年9月

『栄養士ハンドブック』共同執筆 医歯薬出版 昭和49年10月

『保育問題の今日と明日』共編 ドメス出版

昭和49年11月

『現代の家族問題と社会保障』共著 高文堂出版

昭和50年3月

『社会福祉要論』共同執筆 ミネルヴァ書房

昭和50年3月

田端光美助教授

論文「社会福祉の理解を高めるために——社会福祉の
学習と実践について——」分担執筆 東京都社会
福祉協議会

「基礎県落圏とカントリー・コア」「生活環境整
備とコミュニティ活動」以上生活プロジェクト基
礎県落圏整備実験事業中央研究会報告書

小島蓉子助教授

著作、1974年8月学位論文を含むウイスクンシン
大学博士コースの完了学位論文

『The Evaluation of Rehabilita
-tion Counselor Education Pro
-grams through Student's Perce
-ption』1974年8月博士論文審査に合格、
版權取得。

Xrox University microfilms より
公刊さる。原本はウイスクンシン大学メモリアル図
書館に収蔵。

宇部栄子助手

業績『養育院百年史』東京都養育院編 分担執筆

東京都 第2編創業のころ 21-8頁担当

昭和49年3月

「児童福祉の歴史」「資料」一番ヶ瀬康子と共
同執筆『児童福祉論』一番ヶ瀬康子編 有斐閣

11-20頁, 199-216頁所収 昭和49
年9月

「わが国の戦前の「精神薄弱」者施設の総合的研
究IV」(同テーマの共同研究を日本社会福祉学会
にて分担発表。財政、従事者について担当)

『第22回大会発表要旨集』所収

大友昌子

「埼玉県における社会福祉施設の現状とその問題
点」佐藤進と分担執筆『社会福祉』17号

1974年3月

「児童保護事業の成立とその社会的背景——育児
事業の経営、運営内容の考察を中心として——」

『社会福祉』18号 1975年3月

岩本ミチ

「教護院の発展過程と実態に関する一研究」

『社会福祉』18号 昭和50年3月

第22回日本社会福祉学会にて共同発表

「教護院の児童と収容形態」